

平成 29 年 12 月 21 日

## 29 年度第 2 回講演会の報告

広報担当 原

12 月 21 日(木) 10 時より、ナディアパークデザインセンター6階に於いて、参加者 41 人にて、堀川 1000 人調査隊事務局 長 服部宏氏を講師に、演題「木曽川導水復活の可能性に就いて」が行われました。

開口一番に、非常に難しい題材で、導水に就いては、可能性はあるが何時というのは見えていないとの感想を述べられました。

過去に於いても導水実験の実施が繰り返されました。平成 19 年 4 月～22 年 3 月迄 3 年間の社会実験が始まり、堀川は上流部から見違える様にきれいになり、ボラの大量遡上等も話題を呼んだ事例も有りました。又徳山ダムから木曽川への導水も色々と議論をなされたが、平成 21 年 5 月に徳山ダムからの連絡導水路を造る事業からの撤退表明もありました。

これからの導水再開については市民パワーの後押し、提案と粘り強い関心の持続が、必要であると説かれました。

